

花水川流域の「自由民権運動」と日中「70年戦争」メモ

府川 きよし

自己紹介・・・簡単に

流域の「自由民権運動」…資料「花水川物語外伝」「年表」など

書き始めた動機…詩集「花水川物語1・2・3」を書いていく中で、「横浜詩人会議」の詩誌『京浜詩派』の“歴史の窓辺”に流域の「自由民権運動」をシリーズで連載する。6年かけて書き続け、3月に、1冊の詩集（叙事詩）にまとめました。別紙のように、「神奈川新聞」、平塚の「タウンニュース」に紹介されました。

*表紙、中扉。流域:水系、民権時代の神奈川県。県内の民権結社。講学会の人達について。

・6頁の“目次”を開いて下さい。順次、章ごとに内容を簡潔に説明。

9・10頁の**始まりの始まり**…10頁の序を読む。下段の5行も読む。1853年黒船の来航。成器塾、耕余塾の簡潔な説明。

11頁の「自由民権と現代」を全部読む。

自由民権運動の5大要求・・・①国会開設、②憲法の制定、③地租軽減、
④不平等条約の撤廃、⑤地方自治の確立

13頁 平塚の真土村事件…地券に係る事件、13～15頁を選んで読む

18頁 **運動の始まり**…1853年、運動の夜明け、黎明期を18～20頁を選んで読む。

「万機公論に決すべし」…時代を前へ、「日本の70年戦争」、第3回地方官会議へ参加。

21頁「担い手は豪農層」・・・要点を説明。なぜか。

22頁「地方政治のスタート」・・・要点を説明。徐々に地方制度、公選制がスタートした。

24頁 国会開設の署名運動 上段途中まで読む。 ・26頁の下段を一部読む。

28頁 神奈川から女性の活躍が始まる。簡潔に説明。

30頁 自由党の結成…運動の指導政党。・・・簡潔に解説。

31頁上段 「神奈川の有志は」を簡潔に解説。 「屈指の党勢力に発展」。

32頁下段「在地・・・武相・懇親会」を読む。 盛んな学習活動・・・簡潔に解説。

35頁 「湘南社」とその活動

41頁 民権碑「自由は大山の麓より」4年前建立。「呼びかけ文」を全文読む。
雨岳文庫・民権の会の説明をする。

36頁上段のラスト4行～37頁の1行目まで、大畑先生のことを簡潔に説明する。

38頁「憲法論議」簡潔に説明

44頁「山口左七郎と湘南社」の人々」を簡潔に説明。

46頁「憲法論議の特徴」。宮田寅治の主張・論を説明・・・47頁：先駆的な主権在民論。

48頁「演説会は盛況なり」。簡潔に説明。 ・49頁の下段 「政府の弾圧」50頁も。

50～51頁「草莽から民権化へ。「在地の草莽たち」・・・簡潔に説明

53頁 権力の抑圧と激化事件・・・「運動が困難な時期に突入」。

55～57頁 『関東周辺の激化事件』。話したいが省略。ぜひ読んで下さい。

58頁 二宮の露木事件・・・話したいが省略。ぜひ読んで下さい。

63頁 秦野の農民騒擾・・・話したいが省略。ぜひ読んで下さい。

68頁 秦野の農民騒擾をめぐって・・・話したいが省略。ぜひ読んで下さい。

72頁 武相困民党の闘い・・・話したいが省略。ぜひ読んで下さい。

79頁 武相困民党の指導者たち・・・話したいが省略。ぜひ読んで下さい。

82頁 高利貸しの実態・・・話したいが省略。ぜひ読んで下さい。

86頁 松方財政による農村の変貌・・・話したいが省略。ぜひ読んで下さい。

87頁 **自由党の歴史・動静**・・・運動の芽生え：自由党結成。明治14年の政変。
結成をめぐる状況。・・・話したいが省略。ぜひ読んで下さい。

97頁 **民権運動の地域めぐり**・・・3年間の調査と歴史散歩を含め、まとめた。
話したいが省略します。ぜひ読んで下さい。
大磯、伊勢原、平塚・南金目、厚木・荻野、秦野

* 8、9月の土・日に、伊勢原の「雨岳文庫」の資料館で。雨岳・民権の会主催で、「民権運動の地域めぐり」の成果をまとめ展示会を開催し、好評であった。

なお、「秦野地域」がコロナ禍で延期した。来年3月27日（土）に開催する。
ぜひ、ご参加ください。

日中「70年戦争」について 丸山静雄著「日本の70年戦争」より

まだ書き始めたばかりです。4回分の「原稿」11頁分、年表も2つ資料として、用意しました。その内容とこれから描く展望について話します。

“70年戦争”とは、1874年（明治7年）台湾出兵⇒1945年敗北の71年間を切りを良く。日本は一貫して海外侵略を続けてきた。日本の歴史認識が問題となる。

ある発見…1937.7.7「盧溝橋事件」で、本格的な日中戦争が始まった…なぜ日本軍が現地にいたのか、という疑問？ ⇒ 調べてみたら…日本の侵略戦争の継続性が明らかに。

◆この事を切り口に話を進めます。

（資料の最後・11頁 「盧溝橋事件」を一部読みながら、解説する）

*「70年戦争」というネーミングについて（連載（5）質問に答えて・・・プリントしていない）

資料の1頁～2頁 「連載の開始に当って」を出来るだけ読む。

・・・なぜ「70年戦争」に取り組んだのか。

・・・「『はじめに』で、丸山は」、を2頁まで殆ど読む。所々解説をする。

資料の4頁「台湾へ出兵・占領」・・・「牡丹社事件」と「征台の役」を、かいつまんで話す。

・・・沖縄が、両属体制から日本領土になる。

資料の6頁「台湾を植民地に その結果」・・・最初の植民地、アジア進出基地。

・・・かいつまんで話す。

資料の8頁「朝鮮出兵」・・・「江華党事件」から始まる。・・・かいつまんで話す。

その後については、省略します。

資料の「年表」に目を通して下さい。

また話をする機会があれば、その時にお会いしましょう。

なお、『京浜詩派』の「歴史の窓辺」にシリーズで、「70年戦争」の連載を続けていきます。

読み続けたい方は、送り先を教えてください。出来上がったら毎号送ります。

話す機会を提供して頂き、ありがとうございました。

・（以上）